

お客様の価値創造に貢献し、世界から選ばれる エクセレントカンパニーを目指す 株式会社 スミロン



株式会社 スミロン

代表取締役：春山 英二氏

本社：大阪市天王寺区東高津 11-9

創業：1972年（昭和47年）

従業員数：40名

事業内容：工業用粘着テープ製造・販売

URL：<https://www.sumiron.com/>



1972年の創業以来培ってきた「薄膜多層コーティング技術」をベースに金属・建材、自動車、エレクトロニクス向けなどに表面保護フィルムを提供してきた(株)スミロン。近年はコア技術を生かし、表面保護フィルムだけではなく、様々な機能性を付加した製品開発に注力し、多岐にわたる分野のお客様へ製品を提供しています。今回は代表取締役の春山英二氏にお話を伺いました。

— 表面保護フィルムの 販売からメーカーへ

当社は1972年に創業し今年で51期目を迎えます。先代がブラウン管テレビの製造工程で表面に使っている保護フィルムを見つけ、そこに将来性、可能性を見い出し、表面保護フィルムの販売業を始めました。売れ行きは順調でしたが、やはりメーカー機能を持たなくては先の会社の発展はないと考え、1983年に三重県に工場を構えました。1998年には和歌山県にも工場を構え、現在はこの2拠点で海外向けの製品も含めて全て製造しています。その他に、東京・名古屋・大阪に営業所があります。



三重工場（上）と和歌山工場（下）

— 展開している事業分野と ヒット商品「エコムシュウ」

当社の表面保護フィルムはエレクトロニクス、自動車、金属建材など、幅広い分野で利用されています。現在では医療・ライフケア分野にも進出しており、当社オリジナルの人気商品を1つご紹介させていただきます。



それは「エコムシュウ」という商品です。多くの病院や介護施設で導入していただき、大ヒット商品となっています。エコムシュウは使用済みのおむつなどを「簡単」「清潔」「スピーディー」にパックし、いやな臭いや衛生面の問題を大幅に改善する密封パックシステムです。今まで不快だった汚物処理作業が清潔で快適な作業へと様変わりするほか、感染リスクの軽減や作業効率の向上などのメリットがあり、病院や介護施設、保育の現場でもご利用いただいています。

自動車分野で高いシェアを誇るスミロンの保護フィルム

長距離輸送、屋外留置の際に、車の塗装面を保護するためのフィルムです。酸性雨や虫害、鉄粉などから車を守ります。完成車を出荷する際にご使用いただいています。



塗装面の保護テープを貼った、出荷前の車両

車のホイールを保護するフィルムはミルフィーユのように40枚重なっているのが特徴です。従来品は一枚一枚テープを剥がしていくのでゴミが多く出てしまいましたが、このフィルムはゴミが40分の1になり、作業性も改善され、好評をいただいております。



ホイール用保護フィルムを貼った車両(左)と保護フィルム(右)

— コア技術である粘着技術を 生かした製品やサービス

当社のコア技術、他社と差別化できる部分は粘着技術だと思います。ベースとなる粘着剤はメーカーに作ってもらっていますが、ポイントはその配合です。使用する粘着剤とその配合のレシピがあり、お客様の要望される粘着性能を実現することができます。これを粘着コントロールと言います。接着の強度、きれいに剥せるかどうか、付いてほしい時はついて、剥きたい時は剥がれるというのが理想です。また、粘着剤をフィルムに塗布する技術も当社の強みです。均一に、そして多層コーティングすることが可能であり、このコーティング技術も接着コントロールには欠かせません。

これらの粘着技術を活かして、保護フィルム選定試験サービスを始めました。お客様の要望を聞き取りし、いただいたサンプルを使って様々な試験を行い、最適な保護フィルムを選定するというものです。業界問わず、企画当初の予想を上回る申し込みがありました。多様な案件と、多くの試験を通して新たな知見を得ることができたり、量産につながったり、何よりもお客様からこのようなサービスはなかなか他社ではないと、大変ご好評をいただいています。

— 「幸福創生無限大」の 実現に向けての取り組み

当社では「幸福創生無限大（しあわせそうせいむげんだい）」を経営の目的としています。これは経済的な豊かさや幸福だけを追い求めるのではなく、人の役に立ち、感謝されることによって、生き甲斐や働き甲斐といった人間としての心の豊かさを追い求めていくということです。そのために社員には常に「前向きに挑戦すること」を意識してもらっています。困難や壁にぶつかると、つい「できない」と考えがちですが、そうした考えからは新しいものを生み出すことはできません。当社では困難や壁にぶつかったときに、「できない」と考えるのではなく、「やってみよう」、「どうすればできるのか?」と前向きに挑戦していくことを心がけています。決して現状に満足することなく、より良い製品・サービスを創出するために、自らの限界に挑戦し、新たな可能性を発掘する姿勢を持ち続けていきたいと考えています。

— 会社の今後の目標 技術力と社員一丸を武器に

メーカーにおいて技術力・開発力は最も重要であると思います。先ほど当社の技術力についてお話をさせていただきましたが、まだまだ技術力・開発力

は強化していかなければいけません。独自の技術力に磨きをかけ、それを生かして、これからもオンリーワンの商品を作るために取り巻く環境の変化に恐れる事なく「スピード」と「実行力」を意識し、一歩先を見据えた経営でリードしていきたいと考えています。

最初は2人でスタートした当社ですが、今や社員数140人を超える規模になりました。組織が大きくなるにつれ、自分たちの仕事の成果が見えにくくなり、個々の危機感が薄れがちになるものですが、当社ではアメーバ経営を導入しており、少人数の組織（アメーバ）にすることによって、一人ひとりの仕事・責任が明確になると同時に、仕事の成果も見えやすくなります。

規模が大きくなったとはいえ、まだまだ中小企業です。当社では従業員一人ひとりの声をしっかりと聞いて、いま会社に何が必要かを判断し、取り入れていきたいと思っています。円滑にコミュニケーションを取り、お互いを思いやりながら成長していける風通しの良い社風、社員全員が率先垂範してあくなきチャレンジをし続ける、またそのチャレンジを歓迎する企業でありたいと願っています。

— 貴重なお話をいただき、
誠にありがとうございました。